

原

平成30年度決算に係る

定期監査調書

平成31年4月

畜産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1	頁
	(1) 指摘事項	1	頁
	(2) 監査意見	1	頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1	頁
3	組織及び業務調べ	1	頁
4	職員の定員、現員調べ	1	頁
5	役付職員の調べ	1	頁
6	主な事業に関する調べ	2	頁
7	収入証紙取扱額調べ	5	頁
8	収入事務処理状況調べ	5	頁
	(1) 分担金及び負担金	5	頁
	(2) 使用料	5	頁
	(3) 手数料	5	頁
	(4) 財産収入	6	頁
	(5) 諸収入	6	頁
	(6) 現金の取扱状況	7	頁
9	収入未済額調べ	8	頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8	頁
11	不納欠損額調べ	8	頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8	頁
	(1) 負担金	8	頁
	(2) 補助金	8	頁
	(3) 交付金	8	頁
	(4) 委託料	9	頁
13	工事請負費調べ	10	頁
14	財産に関する調べ	10	頁
	(1) 公有財産	10	頁
	(2) 金券類の受払状況	12	頁
15	財産の貸付及び使用許可調べ	13	頁
	(1) 土地及び建物	13	頁
	(2) 物品	14	頁
16	借受不動産明細調べ	14	頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	15	頁
	(1) 職員住宅	15	頁
	(2) 職員駐車場	15	頁
18	寄附物件の受納状況調べ	16	頁
19	備品の処分状況調べ	16	頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	18	頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	18	頁
	(2) 物品の照合	18	頁
21	事業別予算執行状況調べ	19	頁
22	農業機械の管理状況	19	頁
23	生産物(品)に関する調べ	20	頁
24	試験研究調査事業別実施状況調べ	21	頁
○	意見・要望等	26	頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	処 理 状 況 等
和牛肉のおいしさを評価するポータブル非破壊簡易測定装置の開発共同研究に係る委託契約について、契約日を遡っていた。	再発防止のため、共同研究受入申請は、人事異動で人が変わっても出し直しをせず契約手続きを優先し、メンバーの変更手続きは契約締結後に行うように改めた。 また、遡り起案は厳禁であり、時期を逸しないよう進行管理を行うよう職員に周知徹底した。

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課 の 主 な 所 掌 事 務
畜産試験場	総務担当	○庁舎の管理、運営に関すること。
	肉用牛研究室	○大家畜の飼養、繁殖・育成及び肥育技術に関すること。 ○大家畜の生物工学を用いた改良増殖に関すること。 ○大家畜の経営技術の改善に関すること。
	育種改良研究室	○和牛種雄牛の造成及び凍結精液の作成配布に関すること。 ○和牛の遺伝子解析と育種を用いた改良増殖に関すること。 ○牛肉の肉質向上に関すること。
	酪農・飼料研究室	○乳牛の飼養管理技術の確立に関すること。 ○飼料作物及び牧草の栽培調製利用技術に関すること。 ○飼料の分析に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成31年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	30.4.1 現 在	当 該 年 度	30.4.1 現 在	当 該 年 度	30.4.1 現 在	当 該 年 度	30.4.1 現 在	
定 員	1	1	16	16	5	5	22	22	
現 員	() 2	() 1	(1) 16	(2) 16	() 5	() 5	(1) 23	(2) 22	(1)産休、(2)育休
過不足(△)	1	0	0	0	0	0	1	0	人員要求以外の過配置1名
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	3	3	3	3	9	8	15	14	事務3名、畜産技術員10名(うち研究補助3名、飼育管理補助7名)、警備員2名

5 役付職員の調べ

(平成31年4月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
場長	安藤 功	0	0	
課長補佐(総務担当)	松本 直樹	2	0	出納員
室長(肉用牛研究室)	高取 等	2	0	継続勤務期間:7年
室長(育種改良研究室)	井上 真寛	0	0	
室長(酪農・飼料研究室)	池本 千恵美	1	0	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取和牛肉うまみ開発試験	14,344	3,780	5,400	5,164
鳥取元気プロジェクト	(2)鳥取を元気に／元気な農業に向けて農業活力増進プランを実行			
元気づくり総合戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～ (2)農林水産業 (2)農林水産業の活力増進			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
「うまみ」のある和牛肉を求める消費者ニーズに応え、他県あるいは国外産との差別化を図るために、鳥取和牛肉のおいしさにかかる様々な「うまみ」を調査し、新たなブランド化の創出や、鳥取和牛の育種・改良手法の開発につなげる。				
(イ) 事業の実施状況				
(1) 赤身肉由来のうまみや香りに関する研究の実施				
・今年度は、牛肉のうまみに影響するとされている項目(水分含量、グリコーゲン量など)について約1,000頭分(累計約5,000頭分)のデータを蓄積した。				
・官能評価による牛肉のうまみの強さとグリコーゲン量の相関係数を算出した(R=0.4)。				
(2) 和牛肉のおいしさを評価する非破壊簡易測定装置の開発(九州大学への委託研究)				
・光を活用した測定方法によるグリコーゲン量推定の見通しが立った。				
・九州大学との装置開発に関する研究が、来年度以降も継続となった(九州大学予算)。				
(3) 国産和牛肉の新たな差別化のための評価指標(受託研究)				
・各研究機関(畜産草地研究所、家畜改良センター、神戸大学など)と連携し、平成28年度から5カ年かけて和牛肉のおいしさを網羅的、総合的に解析し、新たな牛肉評価指標を作成する。				
・今年度、本県は分析用鳥取和牛肉102検体、肥育牛の血液18検体、枝肉情報及び血統情報などを提供した。				
イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・香り分析の手法確立のため、専門的な研修会で技術を学び、研究のレベルアップに活かした。				
・九州大学や畜産試験場において、密に情報交換を行い、共同研究の円滑な推進に取り組んだ。				
・講演会などで積極的に研究成果を発表し、生産者や県内関係者に知見を広めた。				
ウ 成果及び効果				
・オレイン酸やグリコーゲンの牛ごとの遺伝的能力を算出し、鳥取県の育種改良に活かした。				
・和牛肉のおいしさについての先進的な取り組みが評価され、県内だけでなく大阪府、愛媛県、大分県、青森県から講演依頼があり、幅広く研究成果を広めた。				
・九州大学との共同研究で、これまでに得られた結果を平成30年10月の日本味と匂学会大会で発表した。平成31年2月末に論文投稿予定である。				
・日本女子大学は、提供した鳥取和牛肉の官能評価試験とオレイン酸との関係について得られた結果を、平成31年3月の日本畜産学会にて発表予定である。				
エ 課題				
・和牛のうまみに関与すると考えられるアミノ酸を見出しつつあるが、生体あるいは枝肉での簡易評価法の開発に課題が残る。九州大学との共同研究を進めつつ、他のアプローチ方法についても検討する。				
・うまみに関与する香りや糖類などその他の項目についても探索する。				

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
牛の精液供給事業	13,410		4,942	8,468
鳥取元気プロジェクト	(2) 鳥取を元気に／元気な農業に向けて農業活力増進プランを実行			
元気づくり総合戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～ (2) 農林水産業 (2) 農林水産業の活力増進			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

優秀な種雄牛や種雄候補牛の人工授精用凍結精液を計画的に生産・保管し、農家ニーズに即した和牛凍結精液を安定的に供給する。

(イ) 事業の実施状況

(1) 種雄牛及び種雄候補牛の飼養管理の実施

- ・「隆福也」、「元花江」の後代検定成績(脂肪交雑)は、トップの「白鵬85の3」を上回った。

	百合白清2	白鵬85の3	隆福也	元花江
後代検定成績 (脂肪交雑：BMS No)	9.2	9.6	9.7	9.8
BMS No 県順位	4位	3位	2位	1位

1 2 3 4 5 6 7

- ・当試験場で繋養している種雄牛は8頭、種雄候補牛は15頭となった。

【用語解説】後代検定とは、種雄候補牛を父に持つ子牛(後代牛)を15頭以上肥育して、その枝肉成績から父牛(種雄候補牛)の産肉能力を調査すること。

(2) 人工授精用凍結精液の生産、保管及び供給

- ・優秀な種雄牛や種雄候補牛の凍結精液を計画的に生産し、農家ニーズに即した供給を行った。
- ・県内外に凍結精液を販売し、その収入は鳥取県和牛振興戦略基金に積み立てられた(平成27年度から実施)。

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・凍結精液の注文取り纏め団体と精液供給の流通システムについて整理し、業務の再分担と流通システムの見直しを行うことで、凍結精液販売業務の円滑化に取り組んだ。
- ・(一社)家畜改良事業団に職員を派遣し、種雄牛管理の技術研修を行った。
- ・凍結精液の生産本数の確保と品質向上のため、精子運動解析装置の導入を行う予定である。

ウ 成果

- ・凍結精液の生産本数 48,419本(前年比90.6%)
- ・凍結精液の配布本数 27,002本(前年比87.9%)
- ・凍結精液の販売額 239,141,376円(前年比117.2%)

※前年比は、いずれもH30.12月末現在比較。

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 (H30.12月末現在)
生産本数(本)	19,459	30,528	39,177	41,070	53,453	48,419
販売本数(本)	4,871	14,754	8,567	25,146	30,726	27,002
うち県外				16,014	21,486	17,924
販売額(千円)	3,966	11,618	7,655	185,578	204,069	239,141
うち県外				172,325	182,266	216,511

工 課 題

- ・県内外からの需要が急増しており、需要に見合った計画的な凍結精液の生産が急務である。
- ・種雄牛の管理には、繊細かつ高度な調教技術が必要であり、技術の習得には長い年月が必要となる。安全に業務を行う上でも計画的な技術者育成が急務である。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成30年12月31日現在)

収入科目		件数	単価(円)	証紙ばりつけ額(円)	備考
目	節				
農林水産業手数料	畜産業手数料	194	700	177,100	鳥取県収入証紙条例
	飼料分析手数料	194		177,100	
計(節)		194		177,100	
目計		194		177,100	
合計		194		177,100	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	電力	1	12,240	12,240	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		電気通信	1	22,500	22,500	0	0	"	
		事務室	1	12,027	12,027	0	0	"	
計(節)			3	46,767	46,767	0	0		
目計			3	46,767	46,767	0	0		
合計			3	46,767	46,767	0	0		

(3) 手数料

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
農林水産業手数料	畜産業手数料	飼料分析手数料	265	202,300	202,300	0	0	鳥取県手数料徴収条例	
		計(節)	265	202,300	202,300	0	0		
目計			265	202,300	202,300	0	0		
合計			265	202,300	202,300	0	0		

(4) 財産収入

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入	種雄牛、自動販売機	3	4,326,348	4,326,348	0	0	公有財産事務取扱要項	
		計(節)	3	4,326,348	4,326,348	0	0		
		目計	3	4,326,348	4,326,348	0	0		
物品売払収入	物品売払収入	備品売払	1	2,970	2,970	0	0	自動車の交換実施要領	
		計(節)	1	2,970	2,970	0	0		
		目計	1	2,970	2,970	0	0		
生産物売払収入	生産物売払収入	生乳、精液、子牛等売払	27	255,031,318	252,356,698	0	2,674,620	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		計(節)	27	255,031,318	252,356,698	0	2,674,620		
		目計	27	255,031,318	252,356,698	0	2,674,620		
家畜類売払収入	家畜類売払収入	牛売払	34	40,266,063	27,292,369	0	12,973,694	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		計(節)	34	40,266,063	27,292,369	0	12,973,694		
		目計	34	40,266,063	27,292,369	0	12,973,694		
合計			64	299,626,699	283,978,385	0	15,648,314		

(5) 諸収入

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
近畿大学受託事業収入	近畿大学受託事業収入		1	1,200,000	1,200,000	0	0		
		目計	1	1,200,000	1,200,000	0	0		
		公益社団法人畜産技術協会附属動物遺伝研究所受託事業収入	1	1,700,000	1,700,000	0	0		
合計			1	1,700,000	1,700,000	0	0		

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入		自動販売機設置取扱手数料	3	58,299	58,299	0	0	公有財産事務取扱要項	
		自動販売機設置に係る電気代	5	18,585	18,585	0	0	公有財産事務取扱要項	
		舗装工事仮設事務所設置に係る電気代	2	11,137	11,137	0	0	公有財産事務取扱要項	
		乳牛舎工事仮設事務所設置に係る電気代、水道代	6	87,889	87,889	0	0	公有財産事務取扱要項	
		直接検定牛舎解体工事仮設事務所設置に係る電気代	1	1,638	1,638	0	0	公有財産事務取扱要項	
		ゲノム育種価評価に係る分析検査料	6	224,000	224,000	0	0	公有財産事務取扱要項	
	目計		23	401,548	401,548	0	0		
	合計		25	3,301,548	3,301,548	0	0		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
畜産業手数料	203,000	137	飼料分析手数料
合計	203,000	137	

イ つり銭の状況

(平成30年12月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)
		20,000

9 収入未済額調べ

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目 目	区分		過年度						現年度分			収入未済額 A+B	未収理由	
	節	細節	前年度 以前からの 繰越額	左のうち の 収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額 A	収入未済額の調定年度内訳			調定額	収 入 未 済 額 B			
							27年度 以前	28年度	29年度					
生産物売払収入			0	0	0	0	0	0	0	255,031,318	252,356,698	2,674,620	2,674,620	収入年月日 H31.2.13
		目 計	0	0	0	0	0	0	0	255,031,318	252,356,698	2,674,620	2,674,620	
家畜売払収入			0	0	0	0	0	0	0	40,266,063	27,292,369	12,973,694	12,973,694	収入年月日 H31.2.13
		目 計	0	0	0	0	0	0	0	40,266,063	27,292,369	12,973,694	12,973,694	
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	295,297,381	279,649,067	15,648,314	15,648,314	

10 未収金回収促進のための取組状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	予算令選額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名 等(規約、要領等を 含む)	備考
畜産試験場費 (新規以外のもの)						30,000		
目 計						30,000		
合 計						30,000		

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4)委託料

(平成30年12月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
農業総務費												
目計											108,000	
畜産振興費	単 県	種牛能力に係るゲ ノミック評価に関す る共同研究	公益社団法人 全国和牛登録協会	(H30.6.28) 1,036,800	H30.6.28 ~ H31.3.31	H30.6.27 (免除)			概	H30.8.10	1,036,800	新規 随契約理由:業務実施に 必要なデータを有する 業者がい者であるため。 ID:18-00127826
上記の外、契約額が 250万円未満のもの											231,000	
目計											1,267,800	
畜産試験場費	国 補	ポータブル非破壊 簡易測定装置の開 発	国立大学法人 九州大学	(H30.4.1) 5,000,000	H30.4.1 ~ H31.3.31	H30.3.27 (免除)			概	H30.6.29	4,000,000	随契約理由:業務実施の 専門技術を有する業者 がい者であるため。 ID:18-00080508
	単 県	供卵牛飼養管理・ 採卵業務委託	公益財団法人 鳥取県畜産振興協会	(H30.4.1) 7,019,287	H30.4.1 ~ H31.3.31	H30.3.28 (免除)						随契約理由:業務実施の 専門技術を有する業者 がい者であるため。 ID:17-00305974
	単 県	現場後代検定調査 牛の管理委託業務	公益財団法人 鳥取県畜産振興協会	(H30.4.1) 6,820,200	H30.4.1 ~ H31.3.31	H30.3.27 (免除)						新規 随契約理由:業務実施の 専門技術を有する業者 がい者であるため。 ID:17-00305650
	単 県	粗飼料生産業務委 託	公益財団法人 鳥取県畜産振興協会	(H30.4.2) 3,745,980	H30.4.2 ~ H30.12.31	H30.3.30 (免除)			精	H30.12.7	3,745,980	随契約理由:業務実施の 設備・能力を有する業 者がい者であるため。 ID:18-00233596
上記の外、契約額が 250万円未満のもの											2,853,718	
目計											10,599,698	
合計											11,975,498	

該当なし

13 工事請負費調べ

14 財産に関する調べ

(1)公有財産
ア 土地

(平成30年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)
行政財産	畜産試験場	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1外	269,482.85	4,635,274	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	269,482.85	4,635,274	4,635,274
計			269,482.85	4,635,274			0	0		269,482.85	4,635,274	4,635,274
普通財産	—		0.00	0	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	0.00	0	0
計			0.00	0			0	0		0.00	0	0
合計			269,482.85	4,635,274			0	0		269,482.85	4,635,274	4,635,274

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)
	事務所	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1外	716.20	34,684,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	716.20	34,684,000	
	ボンベ庫	"	6.00	事務所に含む	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	6.00	事務所に含む	
	鋸屑置場	"	42.00	7,614,245	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	42.00	7,614,245	
	種雄牛舎	"	777.60	21,500,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	777.60	21,500,000	
	人工授精舎	"	235.00	5,993,906	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	235.00	5,993,906	
	管理舎	"	19.87	800,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	19.87	800,000	
	和牛育成牛舎	"	301.18	5,640,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	301.18	5,640,000	
	和牛繁殖牛舎	"	603.20	45,170,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	603.20	45,170,000	
	待機牛舎	"	216.00	3,171,088	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	216.00	3,171,088	
	秤量場	"	19.87	665,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	19.87	665,000	
	車庫	"	160.00	9,913,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	160.00	9,913,000	
	屋外便所	"	3.75	196,500	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	3.75	196,500	
	生物工学棟(生物)	"	220.91	23,237,229	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	220.91	23,237,229	
	農機具庫	"	335.40	7,335,367	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	335.40	7,335,367	

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	供卵・受卵牛舎	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1外	1,023.76	40,379,000	増加 減少	H H	0 0			H H	1,023.76	40,379,000	
	繋留場	"	33.92	1,000,000	増加 減少	H H	0 0			H H	33.92	1,000,000	
	肥育牛舎	"	837.01	37,080,000	増加 減少	H H	0 0			H H	837.01	37,080,000	
	堆肥舎	"	997.20	49,985,150	増加 減少	H H	0 0			H H	997.20	49,985,150	
	隔離舎	"	262.20	16,380,000	増加 減少	H H	0 0			H H	262.20	16,380,000	
	後代検定牛舎	"	1,112.30	79,191,000	増加 減少	H H	0 0			H H	1,112.30	79,191,000	
	飼料保管庫	"	250.00	15,309,000	増加 減少	H H	0 0			H H	250.00	15,309,000	
	乳牛舎	"	737.10	69,241,200	増加 減少	H H	0 0			H H	737.10	69,241,200	
	生物工学棟(育種)	"	525.08	74,517,450	増加 減少	H H	0 0			H H	525.08	74,517,450	
	旧飼料庫	"	148.76	2,150,000	増加 減少	H H	0 0			H H	148.76	2,150,000	
	乳牛舎	"	1,234.14	190,523,792	増加 減少	H H	0 0			H H	1,234.14	190,523,792	
	搾乳舎	"	316.55	48,868,286	増加 減少	H H	0 0			H H	316.55	48,868,286	
	堆肥舎	"	88.00	13,705,922	増加 減少	H H	0 0			H H	88.00	13,705,922	
	直接検定牛舎	"	448.00	13,160,000	増加 減少	H H30.8.2	0 0		用途廃止	H	0.00	0	
計		11,671.00	817,411,135			△ 448.00	△ 13,160,000			11,223.00	804,251,135		
普通財産	直接検定牛舎	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1外	0.00	0	増加 減少	H30.8.2 H30.9.25	448.00 448.00	13,160,000 13,160,000	行政財産から 解体・撤去	H H	0.00	0	
				増加 減少	H H					H H	0.00	0	
	計		0.00	0			0	0		H	0.00	0	
合計		11,671.00	817,411,135			△ 448.00	△ 13,160,000			11,223.00	804,251,135		

ウ山林 該当なし

工動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

才物権 該当なし

力無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受入額	払出額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	111,626	99,282	98,912	111,996	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	111,626	99,282	98,912	111,996	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成30年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	貸 付 (使用許可) 目	所 在 地	数 量 又 は 面 積	貸 付 (使用許可) 年 月 日	当 初 貸 付 (使用許可) 年 月 日	貸 付 (使用許可) 期 間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備 考
							単 価	本 年 度 の 貸 付 (使用)料	住 氏 名	所 名	
行政財産	電力供給施設	東伯郡琴浦町松谷 字西高野 606	電柱 10	平28.3.31	昭51.4.1	平28.4.1~平33. 3.31	1,500 180	12,240	倉吉市駄経寺町245-6 中国電力(株)倉吉営業所		
			支線 10								
			支柱 2								
			支線注 2								
行政財産	電気通信設備	東伯郡琴浦町松谷 字西高野 606	本柱 6	平30.2.19	昭58.4.1	平30.4.1~平35. 3.31	1,500	22,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店	ID:17-00260944	
			支柱 2								
			支線 4								
			支線柱・線 3								
計	-										
普通財産	-										
計											
合計											

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	貸 付 (使用許可) 目	所 在 地	数 量 又 は 面 積	貸 付 (使用許可) 年 月 日	当 初 貸 付 (使用許可) 年 月 日	貸 付 (使用許可) 期 間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備 考
							単 価	本 年 度 の 貸 付 (使用)料	住 氏 名	所 名	
行政財産	自動販売機	東伯郡琴浦町松谷 606	1.58㎡	平30.4.1	平30.4.1	平30.4.1~平35. 3.31	6,348	6,348	米子市岡三柳2887-2 ダイドーウエスベンディング(株)	ID:17-00307246	
	事務室										
行政財産	-	東伯郡琴浦町松谷 606	3.3㎡	平30.5.1	平30.5.1	平30.5.1~平31. 3.31	39,360	12,027	東伯郡琴浦町保37-1 鳥取県家畜改良協会	ID:18-00033975	
			-								
計											
普通財産	-										
計											
合計											

(2) 物品

(平成30年12月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名			
牛	1	福増	H29.4.1 ～ H32.3.31	月額・年額 2,160,000	2,160,000	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一	岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売		
牛	1	礼美茂	H29.9.1 ～ H32.3.31	月額・年額 2,160,000	2,160,000	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一	岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売		
牛	1	勝茂久	H29.9.1 ～ H31.8.31	月額・年額 無償	0	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一	岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売	延長 ID: 18-00137901	
合計					4,320,000					

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1 区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	東伯郡琴浦町松谷606 畜産試験場	12.5	1,000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額			
		人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免							
4月	32	1	1	3	3	34	34	0	減免理由:通勤手段として 勤務先官公署への公共交 通機関が確保できない場合 減免率:10/10					
5月	34					34	34	0						
6月	34					34	34	0						
7月	34	1	1			33	33	0						
8月	33	1	1			32	32	0						
9月	32			2	2	34	34	0						
10月	34	1	1	1	1	34	34	0						
11月	34					34	34	0						
12月	34					34	34	0						
合計								0						

18 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

19 備品の処分状況調べ

(平成30年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	保管年月日 取得年月日	耐用 年数 (年)	取得価格 (円)	不用決定 年月日	不用とする理由	処分				備考
							売却 棄却 の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	売却額・ 処分費用 (円)	
和牛(百合鵬4 1430060855)	1	H28.9.1	8	707,000	H30.4.2	肥育終了	売却	委託販売	H30.4.4	1,447,314	
和牛(3阿弥)	1	H28.7.22	8	1,141,560	H30.4.10	肥育終了	売却	委託販売	H30.4.11	1,654,394	
和牛(収86)	1	H28.7.22	8	959,040	H30.4.10	肥育終了	売却	委託販売	H30.4.11	1,583,124	
和牛(隆福町1430060831)	1	H28.8.1	8	707,000	H30.4.10	肥育終了	売却	委託販売	H30.4.11	1,327,889	
和牛(福白清)	1	H28.9.8	8	1,058,400	H30.4.10	肥育終了	売却	委託販売	H30.4.11	1,410,950	
和牛(やえかつの1 1239949474)	1	H24.2.1	8	320,000	H30.3.10	牛群更新	売却	委託販売	H30.4.20	344,520	
和牛(かつみつ1239949481)	1	H24.2.1	8	320,000	H30.3.10	牛群更新	売却	委託販売	H30.4.20	383,400	
和牛(むつひめ1351747460)	1	H26.12.1	8	417,000	H30.3.10	牛群更新	売却	委託販売	H30.4.20	548,640	
和牛(ゆりはな)	1	H28.7.22	8	878,040	H30.5.1	肥育終了	売却	委託販売	H30.5.12	1,525,749	
和牛(たかたかしば)	1	H28.7.22	8	867,240	H30.5.1	肥育終了	売却	委託販売	H30.5.12	1,080,815	
和牛(たかひさゆり)	1	H28.7.22	8	959,040	H30.5.1	肥育終了	売却	委託販売	H30.5.12	1,388,186	
乳牛(パインバリー アイダロット フォージ ベム)	1	H22.10.1	8	28,000	H30.4.27	病畜廃用	売却	委託販売	H30.5.18	80,501	
和牛(ひらしげはち1254016168)	1	H21.11.9	8	292,950	H30.4.25	牛群更新	売却	委託販売	H30.6.7	420,120	
和牛(さざえ1253213957)	1	H22.5.6	8	252,645	H30.4.25	牛群更新	売却	委託販売	H30.6.7	408,240	
乳牛(パインバリー アイダロット スプール シャーロット)	1	H28.6.7	8	72,000	H30.4.27	牛群更新	売却	委託販売	H30.6.7	381,240	
和牛(麗美福)	1	H25.10.17	8	766,500	H30.6.8	淘汰	売却	委託販売	H30.6.19	60,286	
ミニホイロローダー	1	H5.7.27	5	2,750,100	H30.6.28	備品更新	売却	下取	H30.7.3	2,970	
和牛(汐久森)	1	H29.1.19	8	1,296,000	H30.7.10	育成解除	売却	委託販売	H30.7.17	49,383	
和牛(岩伏森)	1	H29.6.8	8	1,188,000	H30.7.10	育成解除	売却	委託販売	H30.7.17	37,606	
和牛(金元華)	1	H29.3.2	8	933,120	H30.10.3	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.7	1,488,313	
和牛(2代目颯汰1430060909)	1	H29.5.1	8	701,000	H30.10.3	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.7	1,767,784	
和牛(秦造)	1	H29.3.2	8	1,064,880	H30.10.2	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.10	1,133,123	
和牛(元花国)	1	H29.3.2	8	946,080	H30.10.2	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.10	1,187,255	
和牛(花元花)	1	H29.3.2	8	937,440	H30.10.2	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.10	1,404,557	
和牛(颯汰1430060893)	1	H29.5.1	8	701,000	H30.10.2	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.10	1,501,444	

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数 (年)	取得価格 (円)	不用決定 年月日	不用とする理由	処 分			備 考	
							売却 の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日		売却額・ 処分費用 (円)
和牛(雷神山1462304446)	1	H30.2.27	8	611,000	H30.9.21	育成解除	売却	委託販売	H30.10.10	37,703	
和牛(双葉1)	1	H29.6.8	8	997,920	H30.10.29	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.31	1,374,879	
和牛(双葉2)	1	H29.6.8	8	1,007,640	H30.10.30	肥育終了	売却	委託販売	H30.10.31	1,617,954	
和牛(みずほ)	1	H29.1.19	8	924,480	H30.11.1	肥育終了	売却	委託販売	H30.11.10	1,442,155	
和牛(きくはなえ)	1	H29.1.19	8	970,920	H30.11.1	肥育終了	売却	委託販売	H30.11.10	1,699,973	
和牛(3代目彌汰1430060916)	1	H29.5.1	8	701,000	H30.11.16	肥育終了	売却	委託販売	H30.11.19	1,384,800	
和牛(秋藤鶴)	1	H29.6.8	8	881,280	H30.11.20	肥育終了	売却	委託販売	H30.11.28	968,487	
和牛(久松山1462304361)	1	H29.6.1	8	701,000	H30.11.20	肥育終了	売却	委託販売	H30.11.28	1,367,318	
和牛(多美福)	1	H25.1.28	8	1,869,610	H30.12.3	淘汰	売却	委託販売	H30.12.5	61,560	
和牛(隆清)	1	H29.6.8	8	849,960	H30.12.3	肥育終了	売却	委託販売	H30.12.5	1,538,034	
和牛(茂白清)	1	H29.6.8	8	934,200	H30.12.3	肥育終了	売却	委託販売	H30.12.5	1,242,225	
和牛(たからひさ2 1246441442)	1	H21.3.2	8	251,386	H30.11.2	牛群更新	売却	委託販売	H30.12.6	686,880	
和牛(わかめ1253213834)	1	H21.9.1	8	275,231	H30.11.2	牛群更新	売却	委託販売	H30.12.6	286,200	
和牛(ひえきたやす1258887542)	1	H23.3.4	8	490,350	H30.11.2	牛群更新	売却	委託販売	H30.12.6	359,640	
和牛(やえかつの2 1351747149)	1	H24.3.1	8	320,000	H30.11.2	牛群更新	売却	委託販売	H30.12.6	327,240	
和牛(だいせん2はな)	1	H29.1.19	8	933,120	H30.12.4	肥育終了	売却	委託販売	H30.12.8	1,614,145	
和牛(もりもと88)	1	H29.1.19	8	968,760	H30.12.4	肥育終了	売却	委託販売	H30.12.8	1,642,037	
小計	41			33,951,892						40,269,033	
乳牛(カレッジヒル デンゼル オーシャン シラタマ)	1	(H29.7.12) H22.12.12	8	36,000	H30.6.4	斃死	棄却	斃死	H30.6.5	0	
乳牛(ラッシー 13346-4380-2)	1	(H30.7.4) H24.6.3	8	68,000	H30.8.29	起立不能・治癒不能	棄却	起立不能・治癒不能	H30.8.30	0	
送風定温乾燥機	1	S62.7.20	5	200,000	H30.8.2	使用不能・修理不能	棄却	使用不能・修理不能	H30.10.29	▲ 70,200	委託処理
乳牛(パインバリー アイダロッタ フレディー イチゴ)	1	H26.11.21	8	72,000	H30.12.4	斃死	棄却	斃死	H30.12.3	0	
小計	4			376,000						▲ 70,200	
合計	45			34,327,892						40,198,833	

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成30年12月31日現在)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計管理局 の 審査結果
パソコン	1	円 リース物品 (26,416)	H30.7.4 午後時ごろ	畜産試験場 研究室	7月3日PM 6:30頃、コーヒー 入りカップ(蓋なし)を持った腕 が簿冊に当たり、PCキーボ ードの隙間にコーヒーが数滴こ ぼれた。翌日(4日)の午前は キーボード入力に支障はな かったが、午後1時頃にキー ボード入力を受け付けなくな った。	H30.7.6	-

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
H30年8月6日 ～ H30年8月29日	・ 有 ○ 無		

2.1 事業別予算執行状況調べ

目 名 財産管理費		(平成30年12月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
県有施設営繕事業	場内施設の修繕を実施	

目 名 農業総務費		(平成30年12月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
先端的農林水産試験研究推進強化事業	ゲノム育種価算出のための遺伝子検査及び統計処理技術の習得に係る旅費	

目 名 畜産振興費		(平成30年12月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
県優良種雄牛造成事業	優秀な種雄牛造成のための雄牛導入と現場後代検定を円滑に行う。 ・24頭の直接検定候補牛の遺伝病保有状況を調査。 ・6頭の直接検定牛を導入。(うち場内産1頭含む) ・2頭の種雄牛候補の試験種付けを延52人の授精師と延96人の農家に75頭分を依頼。	
鳥取和牛改良試験研究施設整備事業	研究棟新築に伴う備品購入費用	

目 名 畜産総務費		(平成30年12月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
畜産課管理運営費	試験研究・ブランド化・種雄牛造成に関する打合せに要する経費、育休等職員代替非常勤職員報酬経費	

目 名 畜産試験場費		(平成30年12月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
畜産試験場管理運営費	庁舎等の管理運営を行う経費	
試験研究費	試験研究課題等の16事業を実施。詳細は「6主な事業に関する調べ」及び「24試験研究調査事業別実施状況調べ」に記載。	

2.2 農業機械の管理状況 該当なし

23 生産物(品)に関する調べ

(平成30年12月31日現在)

生産部門	品名種類	作付面積	生産計画数量	生産数量			場内使用	売却		処分数量		分類換	差引残	備考
				前年度からの繰越	生産購入	計		数量	金額	目的外使用 数量	金額			
生乳			202,160 kg	0 kg	97,790 kg	97,790 kg	0 kg	11,581,077 円	14 kg	円	0 kg	97,790 kg	11,581,077 円	0 kg
精液			25,000 本	203,977 本	48,419 本	252,396 本	617 本	239,141,376 円	263 本	円	0 本	27,265 本	239,141,376 円	224,514 本
和牛受精卵			150 個	1,168 個	252 個	1,420 個	185 個	0 円	0 個	円	0 個	0 個	0 円	1,235 個
小計								250,722,453 円					250,722,453 円	
粗飼料	ロール牧草	10.6 ha	385 ロール	143 ロール	182 ロール	325 ロール	222 ロール	0 円	0 ロール	円	ロール	0 ロール	0 円	103 ロール
	サイロコーン	3.2 ha	244,000 kg	317,220 kg	95,300 kg	412,520 kg	85,335 kg	0 円	0 kg	円	3,900 kg	3,900 kg	0 円	323,285 kg
小計								0 円					0 円	
家畜	和牛		31 頭	26 頭	15 頭	41 頭	0 頭	7,122,600 円	0 頭	円	0 頭	8 頭	7,122,600 円	19 頭
	牛		26 頭	5 頭	18 頭	23 頭	0 頭	426,600 円	0 頭	円	0 頭	3 頭	426,600 円	20 頭
	牛		57 頭	31 頭	33 頭	64 頭	0 頭	7,549,200 円	0 頭	円	0 頭	11 頭	7,549,200 円	39 頭
小計								258,271,653 円					258,271,653 円	
合計														

2.4 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成30年12月31日現在)

事業名	「鳥取和牛オレイン55」の増産に向けた飼料給与試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成25年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(4,132,000円) 2,949,688円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料給与技術の開発により「鳥取和牛オレイン55」の生産頭数増加を図る。(単、委)	畜産試験場農家	肥育牛50頭	・オレイン酸含有率の向上を目的に、飼料添加剤(モネンシン及び米ぬか+脂肪酸カルシウム)の給与肥育試験を行う。 ・オレイン酸含有率生前診断法を確立するため、近畿大学と連携し、肥育中の牛の血液成分と脂肪酸組成との関連性を調査する。	(成果) ①モネンシンについては、オレイン酸向上効果は認められなかった。米ぬか+脂肪酸カルシウムについては、平成31年2月に結果判明。 ②オレイン酸生前診断のため、肥育中の牛14頭の血液を採取した。近畿大学の分析で、関連のある血液タンパクが確認された。 (課題) 飼料給与面からの決定的なオレイン酸向上方法が明確でなく継続的な取り組みが必要。

事業名	強化哺育を活用した和子牛の育成技術確立試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(3,022,000円) 2,651,795円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
高タンパク・低脂肪の代用乳を多給する「強化哺育」を活用し、発育良好で筋肉質な和子牛を育成し、子牛の市場価値向上を図る。(単)	畜産試験場	子牛17頭	強化哺育での発育に与える効果を調査したところ、飼料摂取量が順調に増加しなかった個体が認められたことから、これまでの強化哺育を改良し、哺乳量及び哺乳量漸減時期を検討する。	(成果) 改良後の強化哺育でも改良前と同様の発育が得られており、どの個体の飼料摂取量も順調なことから、検証を引き続き行い得られた知見をもとに和子牛育成マニュアルの改訂を行う。 (課題) より多くの個体を用いた検証が必要。産肉能力の優れた種雄牛の産子は太りやすい傾向がある。

事業名	黒毛和種去勢肥育牛の短期肥育技術の確立		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(2,811,000円) 1,821,448円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
全国和牛能力共進会での優秀な成績獲得及び肥育コスト削減のため短期肥育技術の確立を図る。(補助)	畜産試験場	肥育牛40頭	・短い肥育期間で通常と同等の肉質と重量を確保するため、飼料添加剤(ビタミンC)給与による肉質向上効果の検証を行う。	(成果) ・ビタミンC給与試験を実施中であり、平成31年2月の試験牛の出荷で結果が判明。 (課題) 短期肥育のため、脂肪中のオレイン酸含有率が低い傾向であり、改善が必要。

事業名	鳥取和牛の効率的な増産と改良に向けた体外受精卵利用技術体系の構築		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(12,001,000円) 9,274,084円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛の増頭と改良のため、ほとんど未利用であった体外受精卵技術を体系化して普及する。 (補助)	畜産試験場 倉吉農業高校 農家	雌牛20頭と場卵巣200検体	(1)と畜牛の利用：培養系の改良、優良牛からの体外受精卵生産と受胎性確認 (2)経膈採卵により生産された体外受精卵の受胎性調査 (3)一卵性双子生産：経膈採卵-体外受精-割球分離による2卵生産と乳牛(経産)への2卵移植による受胎性確認、双子発生率の調査 (4)遺伝子診断用の採材および細胞培養：体外胚バイオプシーによる採材と培養方法の検討	(成果) (1)発生培地に添加する血清濃度をコントロールすることにより、胚発生能に影響がないことを確認した。培養系の改良により、凍結融解後の生存性が高い胚の生産に成功した。 (2)上記培養系の改良をもとに経膈採卵にて生産した胚を移植したところ、14/24(58.8%)の受胎率を得た。 (3)黒毛和種一卵性双子生産を目的とした、経膈採卵-体外受精-割球分離により昨年受胎した7頭について、3頭の子孫(うち1例流産)、4頭の単子生産を確認した。 (課題) ・経膈採卵により回収できる卵子数を増やすことが課題。また、採取した卵子を無駄なく胚発生させる培養技術の確立が必要。 ・今年度はバイオプシーサンプルの遺伝子解析を10例実施したが、配列がうまく読めなかった。増幅方法の検討などが必要。

事業名	優良遺伝子を用いた新鳥取和牛の創造		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年度～		(予算額) 支出済額	(7,187,000円) 3,021,928円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
市場価値の高い「新鳥取和牛」を創り出すために、産肉性と種牛性に関わる優良遺伝子を探索し、種雄候補牛や優良雌牛の選抜に活用して、優秀な種雄牛の造成を図る。(補助、委、単)	畜産試験場 家畜改良センター	以下の黒毛和種DNAサンプル ・種雄牛候補 ・繁殖雌牛 ・肥育牛	・ゲノム育種価算出と精度検証。 ・新たな形質におけるゲノミック評価の試み。(全国和牛登録協会、家畜改良事業団、京都大学) ・和牛生産阻害因子解明コンソーシアム(イノベーション創出強化研究推進事業)。	(成果)・種雄牛候補、繁殖雌牛、肥育牛合わせて391頭のSNPを分析した。 ・上記に加え、過去に分析したSNPデータ(雄牛、繁殖雌牛等)について全国評価を再算出した。(4,000サンプル程度)。鳥取県種雄牛の枝肉6形質について、全国のリファレンス集団(26,674頭)を用いたゲノム育種価と鳥取県育種価との相関係数(r)は各形質で0.82~0.96であった。 ・肉のおいしさ、種牛性、発育に係る形質についてのゲノミック評価、遺伝的的不良形質の探索について各研究機関と共同研究をすすめた。 ※SNP:遺伝子上に多数存在する遺伝子型の違い。この違いをもとに能力を解析。 (課題) ・本県内におけるSNP分析体制の確立が必要。

事業名	高能力受精卵増産委託事業		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成27年～		(予算額)	(9,012,000円)
			支出済額	1,690,194円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
畜産試験場で繋養する繁殖雌牛の管理、受精卵の採取・販売を委託し、鳥取和牛の増産を図る(単)	畜産試験場	供卵牛50頭。	高能力種雄牛「百合白清2」、「白鵬85の3」の受精卵の効率的生産及び県内農家への販売。	(成果) のべ採卵頭数：66頭 総回収卵数：606個 正常卵数：284個(平均4.3個) (課題) ・回収卵数や正常卵数を増やすため、牛群更新や飼料内容の見直しが必要である。 ・外部委託先の確保が難しい。

事業名	和牛産肉能力直接検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和54年度～		(予算額)	(2,359,000円)
			支出済額	797,853円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛産肉能力直接検定(単)	畜産試験場	黒毛和種種雄候補牛12頭	発育や体型、飼料利用効率などの項目で種雄候補牛の能力調査を実施し、種雄候補牛の一次選抜を行う。	(成果) 検定実施頭数：6頭 検定終了頭数：3頭 選抜頭数：3頭 (課題) 優秀な種雄候補牛を確実に選抜するため、より適切な候補牛の導入時選抜や検定実施の体制を構築する。

事業名	現場後代検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年～		(予算額)	(46,616,000円)
			支出済額	32,712,044円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
優秀な種雄牛造成のための肥育試験実施(単)	畜産試験場	1種雄牛当たり、畜産試験場10頭・肥育農家8頭を肥育試験に供する。	直接検定試験で選抜された待機種雄牛の産子を肥育し、遺伝的産肉能力を判定して、優秀な種雄牛を選抜・造成する。	(成果) 検定実施種雄牛：7頭 産子肥育頭数：144頭 検定終了種雄牛：2頭(うち1頭不合格) (課題) 遺伝的産肉能力を最大限発揮させるための、飼養管理技術のさらなる向上。

事業名	牛の精液供給事業		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和53年度～		(予算額)	(13,410,000円)
			支出済額	6,353,727円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験研究調査の目的、試験研究調査の成果・課題等については、「6 主要な事業に関する調べ」に記載				

事業名	粗飼料増産のための優良品種選定試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成28年度～30年度		(予算額)	(70,000円)
			支出済額	28,187円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料作物を試験栽培し、県内の気候に適した優良品種を選定する。(単)	畜産試験場	イタリアンライグラス トウモロコシ	自給粗飼料の生産基盤強化と増産を目的に、牧草の優良品種を選定するための試験栽培を行う。	(成果) イタリアンライグラスでは「ゼロワン」、「ライジン」、トウモロコシでは「P2088」、「FD66-91」の3カ年の平均収量が標準品種を上回り、鳥取県奨励品種に追加選定された。 (課題) 引き続き現場のニーズを反映した品種選定に努める。

事業名	飼料分析を活用した給与技術向上支援事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成30年度		(予算額)	(625,000円)
			支出済額	484,332円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料を分析し、自給飼料生産技術・飼料給与技術の改善を支援する。(単)	畜産試験場	飼料分析依頼件数：600件	・家畜飼料の栄養成分分析を行い、農家の飼料給与設計の基礎データとして活用してもらう。 ・家畜の生産性(牛乳・牛肉)や繁殖性に最も影響がある「飼料給与技術」の向上を図る。	(成果) 飼料分析は綿密な飼料給与設計の基礎データとして活用されている。また、高品質な自給粗飼料生産や飼料給与改善に向けた指導、助言を行った。 (課題) 引き続き、自給粗飼料の収量及び品質の向上に向けた指導、助言を行う。

事業名	粗飼料生産事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	昭和41年度～		(予算額)	(10,525,000円)
			支出済額	7,936,185円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験供試牛へ給与する自給粗飼料を生産する。(単)	畜産試験場 飼料畑	圃場面積 10.6ha	作付け品種 春作：飼料用トウモロコシ 目標：244t 秋作：イタリアライグラス 目標：38500kg トウモロコシの収穫はチューブバック方式を農家委託で行う。 (チューブバック方式：直径2.4m、長さ60mのナイロン製チューブの中にトウモロコシを詰め、発酵させる方式)	(成果) ・収量は、トウモロコシは95.3t、イタリアンは18200kgであった。 ・イタリアンについては若干早刈りとなり、低水分サイレージとなった。 ・トウモロコシについては、チューブバック方式は通常のバンカーサイロ方式と比較して作業行程が少ないといったメリットがあり、短時間で収穫作業が完了した。 (課題) ・イタリアンは栽培全般を外部委託しているため、刈遅れや播種時期の遅れが発生した。 ・トウモロコシはチューブバック方式のため取出し作業の労力負担が大きい。

事業名	乳牛の繁殖性向上実証試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成29年度～31年度		(予算額)	(20,142,000円)
			支出済額	14,298,504円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
乳牛の繁殖性に影響を及ぼすエンドトキシン量を把握して飼料給与改善指標を設定し、繁殖機能の正常化を図る。(単)	畜産試験場 乳牛舎	搾乳牛 16頭	搾乳牛の血中エンドトキシン量を測定し、飼料給与内容の設定について検討する。	(成果) ・搾乳牛から採取・抽出した血漿を10倍希釈してマイクロプレートリーダーで測定をしたところ、血中エンドトキシンが確認できた。 ・TMR粒度の差による血中エンドトキシン濃度への影響について、現時点では明確な差は認められなかった。 (課題) ・試験データの例数(n数)を増やすため、搾乳牛の増頭が必要。 ・繁殖性に関する評価項目の絞り込みを行う必要がある。

事業名	鳥取和牛肉うまみ開発試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成17年度～		(予算額)	(14,344,000円)
			支出済額	7,803,130円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験研究調査の目的、試験研究調査の成果・課題等については、「6 主要な事業に関する調べ」に記載				

○意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし